令和９年度教員採用選考について

義務教育課
高校教育課
特別支援教育課

１　求める人物像

教育への情熱をもち、私たちとともに～個人と社会のウェルビーイングの実現～を目指す人

２　選考の日程及び会場

令和８年４月10日（金）	募集要項ＨＰ公開
４月13日（月）	志願受付開始　　全てながの電子申請サービスによる
５月７日（木）	志願受付締切り
６月27日（土）	一次選考（小学校、中学校、特別支援学校） ・会場…長野市立柳町中学校、長野市立東部中学校、 長野市立櫻ケ岡中学校 一次選考（高等学校） ・会場…長野県長野商業高等学校
６月28日（日）	一次選考（小学校、中学校、特別支援学校） ・会場…長野市立柳町中学校、長野市立東部中学校、 長野市立櫻ケ岡中学校
７月中旬	一次選考結果発表
８月３日(月)・４日(火)・５日(水) ・６日(木)・７日(金)	二次選考（小学校、中学校、特別支援学校） ・会場…信州大学教育学部附属長野中学校、 信州大学教育学部附属長野小学校
	二次選考（高等学校） ・会場…長野県長野工業高等学校
８月下旬	採用予定者発表

※ 信州 UIJ ターン秋選考Ａ、Ｂについては後掲。

３　採用予定の教員の種別、教科及び人数

（１）小学校・中学校教員選考

学校種	教員の種別	教　　科	各ブロックの採用人数		全県合計人数
小学校 中学校 義務教育学校	★小学校教諭		東　信 南　信 中　信 北　信	６０名程度 ８０名程度 ６０名程度 ６０名程度	２６０名程度
	★中学校教諭	国語　社会　数学　理科 音楽　美術　保健体育 技術　家庭　英語	東　信 南　信 中　信 北　信	３０名程度 ４０名程度 ４０名程度 ３０名程度	１４０名程度
	★養護教諭		東　信 南　信 中　信 北　信	若干名 若干名 若干名 若干名	１０名程度
	栄養教諭				若 干 名

★は、「ブロックの採用数を設定した採用」を行う。

（２）特別支援学校教員選考

学校種	教員の種別	教　　科	採用人数
特別支援学校	特別支援学校教諭		６０名程度

（３）高等学校教員選考

学校種	教員の種別	教　　科	採用人数
高等学校	高等学校教諭	国語　地理歴史　公民　数学　理科　保健体育	１３０名程度

		芸術（音楽・美術・書道）　外国語（英語） 農業　工業　商業　家庭　情報	
	養護教諭		若 干 名

（4）障がいのある人を対象とした教員選考

学校種	教員の種別	教　　科	採用人数
小学校 中学校 義務教育学校 特別支援学校 高等学校	小･中学校教諭 特別支援学校教諭 養護教諭・栄養教諭 高等学校教諭	（1）（2）（3）に準ずる	１０名程度 ⑴､⑵､⑶の 内数

（5）スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考

学校種	教員の種別	教　　科	採用人数
小学校 中学校 義務教育学校 特別支援学校 高等学校	小･中学校教諭 特別支援学校教諭 養護教諭・栄養教諭 高等学校教諭	（1）（2）（3）に準ずる	若干名 ⑴､⑵､⑶の 内数

※注

① （1）～（5）のいずれかを選択して受験することとなります。

② 小学校・中学校教員選考の「ブロックの採用数を設定した採用」受験者は、出願時にブロックの第一希望として「全県」「東信」「南信」「中信」「北信」「東信・南信」「東信・中信」「東信・北信」「南信・中信」「南信・北信」「中信・北信」のいずれかを選択します。第２希望は、第１希望以外のいずれかを選択します。

「全県」は、全県どこでもよいことを意味します。ただし、第一希望として「全県」を選択した場合であっても、ブロックの希望を申し出ることは可能です。ブロックの希望については、一次選考合格後に提出するブロック調査票等により改めて確認します（「全県」を選択した者も含む）。

また、「東信・南信」は、東信及び南信のどちらでもよいことを意味し、採用地ブロックは長野県教育委員会が決定します。

③ 採用人数は、現時点の目安であり、変更することがあります。

④ 高等学校教員選考の「教科」項目中の（ ）内は、主たる専攻区分を示しています。

4　申込資格

（1） 昭和 42 年４月２日以降に生まれた者。

（2） 希望する教科若しくは職の普通免許状を有する者又は令和９年３月 31 日までに取得見込の者(授与申請をし、免許状が発行される見込みの者)。なお、養護教諭希望者で、令和９年の春までに行われる国家試験によって保健師免許状を取得後､令和９年３月 31 日までに養護助教諭免許状(臨時免許状)取得予定の者も含みます。また、博士号取得者を対象とした選考を受験する者で、受験する学校種、教科の普通免許状を有していない者は、選考後に特別免許状の申請をして取得する必要があります。なお、免許状を所有しない者も、最大３年間の猶予期間内に免許状を取得することを条件に、小学校・中学校教員選考を受験することができます。詳細は、12 免許状を所有しない社会人受験者を対象とした免許取得期間の猶予を参照してください。

（3） 特別支援学校教諭については、基礎免許状として小学校・中学校・高等学校のいずれかの教諭免許状を有する者で、特別支援学校教諭免許状を有する者（平成 19 年３月 31 日以前に盲学校教諭免許状、聾学校教諭免許状、養護学校教諭免許状を取得した者を含む。）又は令和９年３月 31 日までに基礎免許状、特別支援学校教諭免許状をともに取得見込の者(授与申請をし、免許状が発行される見込の者)。もしくは、基礎免許状として小学校・中学校・高等学校のいずれかの教諭免許状を有する者で、令和９年３月 31 日までに特別支援学校教諭免許状の授与申請要件を満たす見込の者。

※免許法認定講習や通信大学等で単位取得をされる方は、授与申請に必要な要件及び発行日等について必ずご確認ください。免許の申請について不明な点がありましたら、長野県教育委員会高校教育課(026-

235-7429）にお問い合わせください。

（４） 小学校・中学校・特別支援学校教員選考を受験する者は、複数校種（小・中・特別支援学校）・複数教科等の免許状を有することが望ましいです。

（５） 高等学校の「地理歴史」は公民の免許状を、「公民」は地理歴史の免許状を、「書道」は国語の免許状をそれぞれ有することが望ましいです。「情報」は他教科の免許状を有することが望ましいです。

（６）障がいのある人を対象とした教員選考を受験する者は、以下が受験条件です。

〇「身体障害者手帳」「精神障害者保健福祉手帳」「療育手帳」の交付を受けている者

〇手帳の有効期限が出願時、一次選考日及び二次選考日、採用時においてそれぞれ有効であること

〇大学推薦選考は、在学する大学の推薦を受けた者で、令和９年３月に卒業見込又は大学院修了見込の者推薦の対象となる教員の種別は、小学校教諭、中学校教諭（全教科）、特別支援学校教諭、小・中学校養護教諭、栄養教諭です。詳細は別途定める「障がいのある人を対象とした大学推薦選考実施要項」によります。長野県教育委員会ホームページに掲載します。

※受験にあたっては、受験者からの申し出をもとに障がいの種類や程度に応じて、文字・用紙の拡大、手話通訳によるコミュニケーション、試験時間の延長、試験会場・座席の配慮、実技試験の一部免除等、必要な配慮に努めます。

（７）スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考を受験する者は、以下が受験条件です。

〇年齢制限を満 49 歳以下とする（令和９年３月 31 日現在）。

〇「競技者」は、次の①又は②のいずれかの実績要件を満たす者（平成 31 年４月１日以降の実績に限る。）

①国際規模の競技会（オリンピック・パラリンピック競技大会、世界選手権大会、アジア競技大会、ユニバーシアード競技大会等）に日本代表選手として出場した競技者（団体競技については試合に出場した者）。

②全国規模の競技会（国民スポーツ（体育）大会、全日本選手権大会、全日本学生選手権大会等）において、８位以上の成績を収めた競技者（団体競技については試合に出場した者）。

〇「指導者」は、次の③又は④のいずれかの実績要件を満たす者

③国際規模の競技会（上記①に同じ）に日本代表選手として出場した競技者、又は全国規模の競技会（上記②に同じ）で８位以上の成績を収めた競技者（団体競技については試合に出場した者）を、その大会の出場に際して直接指導した者。

④国際規模の競技会（上記①に同じ）、又は全国規模の競技会（上記②に同じ）に選手（団体競技については試合に出場した者）としての出場実績があり、指導者を希望する者。

〇詳細は別途定める「スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考実施要項」によります。長野県教育委員会ホームページに掲載します。

（８）信州 UIJ ターン秋選考Ａ（小学校･中学校教員選考、特別支援学校教員選考）の受験条件は、令和９年度長野県公立学校教員採用選考資格者であり、令和９年度長野県公立学校教員採用選考未受験者に限る。

次の①②のいずれかに該当する者とします。

①過去に長野県以外の国公立学校の正規教員の経験が１年以上ある者。

②令和８年度及び令和９年度長野県公立学校教員採用選考（小学校、中学校）における「２年連続補欠合格者等 秋チャンス選考」（５ページ参照）の該当者(ただし、令和８年度の信州 UIJ ターン秋選考の補欠合格者等を除く)。

（９）信州 UIJ ターン秋選考Ｂ【特定の山間地校勤務を条件とした採用】の受験条件は、令和９年度長野県公立学校教員採用選考資格者であり、令和９年度長野県公立学校教員採用選考未受験者に限る。

次の①～③のいずれかに該当する者とします。

①過去に長野県以外の国公立学校の正規教員の経験が１年以上ある者。

②学校、幼稚園で常勤・非常勤講師の経験が令和９年３月 31 日現在で通算３年以上ある者。

③民間企業、教職以外の公務員、ＮＰＯ等の経験が令和９年３月 31 日現在で通算３年以上ある者又は青年海外協力隊等の国際貢献活動の経験が令和９年３月 31 日現在で通算２年以上ある者。

（10）信州 UIJ ターン秋選考（高等学校教員採用選考）の受験者の条件は、次の①②いずれにも該当する者とする。

①令和９年度長野県公立学校教員採用選考資格者であり、令和９年度長野県公立学校教員採用選考未受験者。

②過去に長野県以外の国公立学校の正規教員の経験が１年以上ある者。

（11）地方公務員法第 16 条及び学校教育法第９条の欠格条項に該当しないこととします。

５　選考区分　※「一般選考」「社会人を対象とした選考」の双方を受験することはできません。また「信州３Ｓ（スリーエス）選考」を複数受験することはできません。

（１）一般選考

受験者の条件	なし

（２）社会人を対象とした選考

① 教職（常勤・非常勤講師を含む）経験者を対象とした選考

受験者の条件	学校、幼稚園で次の経験が令和９年３月31日現在で通算３年以上ある者（講師・養護助教諭は、常勤・非常勤を問わない。） 教諭受験者は、教諭又は講師の経験。養護教諭受験者は、養護教諭又は養護助教諭の経験。栄養教諭受験者は、栄養教諭の経験。

② 民間企業等経験者を対象とした選考

受験者の条件	民間企業、教職以外の公務員、ＮＰＯ等の経験が令和９年３月31日現在で通算３年以上ある者又は青年海外協力隊等の国際貢献活動の経験が令和９年３月31日現在で通算２年以上ある者。

（３）信州３Ｓ（スリーエス）選考　（採用人数はいずれの選考においても、３(1) (2) (3) (4) (5)の採用人数の内数）

〇ステージアップ選考（講師経験者選考）ＳＴＡＧＥ・ＵＰ　～講師から正規への道をひらく！～

ステージアップ選考①（ＳＴ①）：学級担任経験のある小学校受験者を対象とした選考

教員の種別	小学校教諭
受験者の条件	県内の小・中学校に講師として勤務し、令和６年度、令和７年度、令和８年度において、それぞれ学級担任(特別支援学級を含む)経験があり、そのうち１回以上小学校の学級担任の経験がある者。

ステージアップ選考②（ＳＴ②）：学級担任経験のある中学校受験者を対象とした選考

教員の種別	中学校教諭
受験者の条件	県内の中学校に講師として勤務し、令和６年度、令和７年度、令和８年度において、通常学級担任を務めた経験が２回以上ある者。

ステージアップ選考③（ＳＴ③）：学級担任経験のある特別支援学校受験者を対象とした選考

教員の種別	特別支援学校教諭
受験者の条件	特別支援学校免許状を有する者で、県内の特別支援学校の講師として勤務し、令和６年度、令和７年度、令和８年度において、それぞれ学級担任経験がある者。

ステージアップ選考④（ＳＴ④）：中学校複数免許所有者を対象とした選考

教員の種別	小・中学校教諭
受験者の条件	令和９年３月 31 日現在で県内の小・中学校の常勤・非常勤講師の経験が通算２年以上あり、出願時に中学校免許を２教科以上有している者。

ステージアップ選考⑤（ＳＴ⑤）：特別支援学校教諭免許状を有する者で、複数の免許状所有者を対象とした選考

教員の種別	特別支援学校教諭
受験者の条件	令和９年３月 31 日現在で県内の小・中・高・特別支援学校で常勤・非常勤講師経験が通算２年以上あり、かつ特別支援学校教諭免許状を有する者で、複数教科の中学校又は高等学校教諭免許状を有している者、または、小学校・中学校・高等学校のうち、いずれか２種類の教員免許状を有している。

〇スキルアップ選考（特別選考）ＳＫＩＬＬ・ＵＰ　～培ってきた能力を生かす！～

スキルアップ選考①Ａ（ＳＫ①Ａ）：補欠合格者等を対象とした選考

採用する教員の種別	小・中・特別支援学校教諭・養護教諭・栄養教諭 高等学校教諭・養護教諭
受験者の条件	前年度、本県の教員採用選考で補欠合格者又は合格者となった者で、前年度と同一の学校種・教科を志願する者。

スキルアップ選考①B（ＳＫ①B）：２年連続補欠合格者等 秋チャンス選考

採用する教員の種別	小・中学校教諭
受験者の条件	令和８年度及び令和９年度長野県公立学校教員採用選考（小学校、中学校）における２年連続補欠合格者等は、令和９年度長野県公立学校教員採用選考 信州 UIJ ターン秋選考Ａ（小学校、中学校）の受験可(ただし、令和８年度の信州 UIJ ターン秋選考の補欠合格者等を除く)。ただし、令和８年度及び令和９年度長野県公立学校教員採用選考（小学校、中学校）と同一の学校種・教科を志願すること。

スキルアップ選考②（ＳＫ②）：大学推薦選考

教員の種別	小・中・特別支援学校教諭
受験者の条件	小学校・中学校の教諭志願者は、小学校及び中学校教諭免許状をいずれも有している者（取得見込を含む）。 特別支援学校の教諭志願者は、特別支援学校教諭免許状（領域は問わない）を有し、かつ小学校又は中学校教員免許状を有する者(取得見込を含む）。なお、小学校及び中学校免許状をいずれも有している者が望ましい（取得見込を含む）。 長野県教育委員会が依頼した大学の推薦を受けた者で、令和９年３月に卒業見込又は大学院修了見込の者。詳細は別途定める「大学推薦選考実施要項」による。長野県教育委員会ホームページに掲載する。※「障がいのある人を対象とした教員選考」の大学推薦選考については、申込資格を参照のこと。

スキルアップ選考③Ａ（ＳＫ③Ａ）：正規教員経験者を対象とした選考

教員の種別	小・中・特別支援学校教諭・養護教諭・栄養教諭 高等学校教諭・養護教諭
受験者の条件	○国公立学校の正規教員として令和９年３月31日現在で通算３年以上の勤務経験のある者。 ・小・中・特別支援学校の教諭志願者は、令和７年度又は令和８年度に国公立小・中・特別支援学校で教諭又は常勤・非常勤講師の経験を有すること。 ・小・中学校の養護教諭志願者は、令和７年度又は令和８年度に国公立小・中・特別支援学校で養護教諭又は養護助教諭の経験を有すること。 ・小・中学校の栄養教諭志願者は、令和７年度又は令和８年度に国公立小・中・特別支援学校又は共同調理場で栄養教諭又は栄養士の業務の経験（勤務形態は問わない）を有すること。 ・高等学校の教諭志願者は、令和７年度又は令和８年度に国公立高等学校で教諭又は常勤・非常勤講師の経験を有すること。 ・高等学校の養護教諭志願者は、令和７年度又は令和８年度に国公立高等学校で養護教諭又は養護助教諭の経験を有すること。 本年度、採用選考を実施する教科等に限る。

スキルアップ選考③B（ＳＫ③B）：信州カムバック選考

教員の種別	小・中・特別支援学校教諭・養護教諭・栄養教諭 高等学校教諭・養護教諭
受験者の条件	○過去に長野県の国公立学校の正規教員として、令和９年３月31日現在で通算３年以上の勤務経験のある者のうち退職した者。 ○令和９年度以降の働き方の選択が可能(小・中・特別支援学校教諭・養護教諭・栄養教諭のみ) [働き方] ○令和９年４月１日から正規教員として勤務 その１：正規教員として勤務 その２：正規教員として勤務「育児短時間勤務」を利用 ○令和９年４月１日から正規教員としての任用を猶予 その３：正規教員としての任用を猶予、猶予期間は「非常勤講師」として勤務 その４：正規教員としての任用を猶予、猶予期間は「育児短時間補充者」として勤務 その５：正規教員としての任用を猶予、猶予期間は「勤務しない」 ○復帰に向けた研修への参加（小・中・特別支援学校教諭・養護教諭・栄養教諭のみ） ・[働き方]その３～その５を選択した者のうち希望者は、研修に参加することができる。

〇スペシャリスト選考（専門選考）ＳＰＥＣＩＡＬＩＳＴ～高い専門性を生かす！～

スペシャリスト選考①（ＳＰ①）：日本語指導資格所有者選考

教員の種別	小・中学校教諭
受験者の条件	・希望する学校種の普通免許状を有していることに加え、日本語教育機関認定法に基づき、登録日本語教員の登録を受けた者。または、令和８年７月31日までに登録を完了できる者。

スペシャリスト選考②（ＳＰ②）：英語資格所有者を対象とした選考

教員の種別	中学校教諭（英語） 高等学校教諭（英語）
受験者の条件	次のいずれかの級や得点を令和３年４月１日以降に取得した者。 ・実用英語技能検定（財　日本英語検定協会）１級 ・TOEFL iBT（会場受験）100点以上 ・TOEIC（公開テスト）900点以上
選考方法	上記「一般選考」又は「社会人を対象とした選考」のどちらかを選択。

スペシャリスト選考③（ＳＰ③）：発達障がい児童生徒特別支援のための選考

教員の種別	小・中学校教諭
受験者の条件	希望する学校種の普通免許状を有していることに加え、ＬＤ(学習障がい)、ＡＤＨＤ(注意欠如多動症)、ＡＳＤ(自閉スペクトラム症)等、発達障がいに関する専門の知識※1を有する者。また、それらの資格を生かして学校やＮＰＯなどで当該児童生徒の教育や療育等に携わった経験※2が令和７年度又は令和８年度にあり、かつ、令和９年３月31日現在で通算３年以上ある者。 ※1 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士、学校心理士、臨床発達心理士、特別支援教育士の有資格者、又は特別支援学校教諭普通免許状(平成19年3月31日以前に盲学校教諭免許状、聾学校教諭免許状、養護学校教諭免許状を有した者を含む)所有者。 ※2 小･中学校の特別支援学級、通級指導教室担当の教諭、講師(教員免許状を必要としない特別支援教育支援員等は含まない)、発達障がいの療育･相談機関等における療育、相談担当の経験。

スペシャリスト選考④（ＳＰ④）：博士号取得者を対象とした選考

教員の種別	中学校教諭（数学、理科） 高校教諭（数学、理科、農業、工業、情報）
受験者の条件	受験する教科の分野における博士の学位を有し、教員の職務を行うのに必要な熱意と見識をもち、理数好きの生徒等を育てる意欲のある者。教員免許資格の有無は問わない。
選考方法	上記「一般選考」又は「社会人を対象とした選考」のどちらかを選択。

スペシャリスト選考⑤（ＳＰ⑤）：学芸員資格所有者選考

教員の種別	小・中学校教諭
受験者の条件	・希望する学校種の普通免許状を有していることに加え、学芸員の資格を有し、博物館・美術館等での勤務経験が通算２年以上ある者。

スペシャリスト選考⑥（ＳＰ⑥）：ネイティブ英語教員選考

教員の種別	高等学校教諭（英語）
受験者の条件	・母国語が英語である者（公用語が英語である国・地域の在住（留学は除く）していた者を含む）、もしくはそれと同等の英語力を有し、日常的に英語を用いて業務を行っている者。 ・英語を母国語または公用語とする国・地域において、大学又は大学院（短期大学を除く）を卒業（修了）し、学士以上の学位を取得している者。 ・教員の職務を行う上で必要とされる日本語能力を有する者。 ・日本国内の高等学校現場で、英語の指導に関する１年以上の教職経験のある者。

６　加点制度（一次選考「専門教科」受験者が利用できる）

（１）加点制度を利用できる受験者及び加点の方法

- 小学校・中学校教員選考、障がいのある人を対象とした選考、スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考において小学校・中学校教員選考の一次選考「専門教科」受験者は、加点制度を利用できます(養護・栄養を除く)。
- 高等学校教員選考及び障がいのある人を対象とした選考（高等学校教員選考）において、情報以外の教科（養護を除く）の一次選考「専門教科」受験者は、加点制度を利用できます。

・ 加点対象となる教員免許状又は資格の内容は、下記（２）の表によります。
・ 加点方法は、一次選考の「専門教科」の得点に３点又は５点、最大 10 点を加点します。

（２）加点制度の対象および資格

加点対象となる教員免許又は資格		加点対象学校種と加点			
		小学校 ※2	中学校 ※2	特別支援学校	高等学校
①	小学校教諭と中学校教諭の両方の普通免許取得又は取得見込 ※1	５	５		
②	中学校教諭(英語)又は高等学校(英語)の普通免許取得又は取得見込 ※1	５			
③	複数教科の中学校教諭普通免許取得又は取得見込 ※1	５	５		
④	実用英語技能検定準１級又は相当（TOEFL iBT（会場受験） 80 点以上、TOEIC（公開テスト） 730 点以上）の資格取得者	５			
⑤	高等学校「情報」の免許取得又は取得見込 ※1 ※3				１０
⑥	特別支援学校教諭の普通免許取得又は取得見込で、高等学校「情報」の免許取得又は取得見込 ※1 ※3			５	
⑦	日本語教育能力検定試験合格者（公益財団法人日本国際教育支援協会）又は学位を有し、かつ、文化庁への届出が受理された 420 時間以上の日本語教師養成講座を修了した者	３	３		
⑧	登録日本語教員の資格取得者	５	５		

※１ ①、②、③、⑤、⑥については、令和９年３月 31 日までに取得できる見込の者を含む。ただし、取得見込みで受験し、令和９年３月 31 日までに取得できないことがわかった場合は、必ず申告をしてください。令和９年３月 31 日までに取得できない場合、加点が無効となり採用内定を取り消す場合があります。

※２ 小学校・中学校教員選考は、出願時に、該当する①～⑧の中から最大２つまで選択することができます。加点は最大１０点までとします。ただし、⑦と⑧の両方を選択することはできません。

（例 1）小学校免許と中学校数学の免許を取得している者 ：①が対象。①を選択し、加点 5 点。
（例 2）小学校免許と中学校国語、音楽の免許を取得している者 ：①③が対象。①③を選択し、加点 10 点。
（例 3）小学校免許と中学校(英語)の免許を取得している者(小学校) ：①②が対象。①②を選択し、加点 10 点。
（例 4）小学校免許と英検準１級を取得している者(小学校) ：④が対象。④を選択し、加点 5 点。
（例 5）小学校免許と中学校音楽の免許を取得し、英検準１級を取得している者(小学校) ：①④が対象。①④を選択し、加点 10 点。
（例 6）小学校免許と中学校社会、技術を取得し、英検準１級を取得している者 ：①③④が対象。中学校は①③、小学校は①③又は①④又は③④を選択し加点 10 点。
（例 7）小学校免許と日本語教育能力検定試験合格者（公益財団法人日本国際教育支援協会）又は学位を有し、かつ、文化庁への届出が受理された 420 時間以上の日本語教師養成講座を修了した者（小学校） ：⑦が対象。⑦を選択し、加点 3 点。
（例 8）小学校免許と中学校国語の免許を取得し、日本語教育能力検定試験合格者（公益財団法人日本国際教育支援協会）又は学位を有し、かつ、文化庁への届出が受理された 420 時間以上の日本語教師養成講座を修了した者 ：①⑦が対象。①⑦を選択し、加点 8 点。
（例 9）小学校免許と中学校国語、社会を取得し、日本語教育能力検定試験合格者（公益財団法人日本国際教育支援協会）又は学位を有し、かつ、文化庁への届出が受理された 420 時間以上の日本語教師養成講座を修了した者 ：①③が対象。①③を選択し加点 10 点。
（例 10）小学校免許と登録日本語教員を取得している者(小学校) ：⑧が対象。⑧を選択し、加点 5 点。
（例 11）小学校免許と中学校国語の免許を取得し、登録日本語教員を取得している者 ：①⑧が対象。①⑧を選択し、加点 10 点。
（例 12）小学校免許と中学校国語、社会を取得し、登録日本語教員を取得している者 ：①③⑧が対象。①③又は①⑧又は③⑧を選択し加点 10 点。

※３ 加点利用者は、配置校において「情報」を担当するとは限りません。

7　試験項目　　〇印の項目について、試験を課す。

（１）小学校・中学校教員選考、特別支援学校教員選考(障がいのある人を対象とした教員選考を含む)

選考区分				一次選考				適性検査	二次選考	
				筆記試験		個人面接	書類審査		個人面接※3	実技
				教職教養	専門教科					
（１）一般選考				〇	〇※2	〇	〇	〇	〇	※5
（２）社会人を対象とした選考					〇※2	〇	〇	〇	〇	※5
（３）信州３Ｓ（スリーエス）選考	ステージアップ選考（講師経験者選考）	ＳＴ①：学級担任経験のある小学校受験者を対象とした選考					〇	〇	〇	
		ＳＴ②：学級担任経験のある中学校受験者を対象とした選考					〇	〇	〇	※5
		ＳＴ③：学級担任経験のある特別支援学校受験者を対象とした選考					〇	〇	〇	
		ＳＴ④：中学校複数免許所有者を対象とした選考					〇	〇	〇	※5
		ＳＴ⑤：特別支援学校教諭免許状を有する者で、複数の免許状所有者を対象とした選考					〇	〇	〇	
	スキルアップ選考（特別選考）	ＳＫ①Ａ：補欠合格者等を対象とした選考	一般					〇	〇	※5
			社会人					〇	〇	※5
		ＳＫ②：大学推薦選考			〇※1※2		〇	〇	〇	※5
		ＳＫ③Ａ：正規教員経験者を対象とした選考			〇※1※2		〇	〇	〇	※5
		ＳＫ③Ｂ：信州カムバック選考					〇	〇	〇	※5
	スペシャリスト選考（専門選考）	ＳＰ①：日本語指導資格所有者選考	一般				〇	〇	〇	※5
			社会人				〇	〇	〇	※5
		ＳＰ②：英語資格所有者選考	一般				〇	〇	〇	※5
			社会人				〇	〇	〇	※5
		ＳＰ③：発達障がい児童生徒特別支援のための選考			〇※1※2		〇	〇	〇※4	※5
		ＳＰ④：博士号取得者選考	一般				〇	〇	〇	
			社会人				〇	〇	〇	
		ＳＰ⑤：学芸員資格所有者選考	一般				〇	〇	〇	※5
			社会人				〇	〇	〇	※5

※1　二次選考の際に参考とします。 ※2　中学校美術には実技があります。 ※3　二次選考の個人面接は、１回実施します。
※4　二次選考の個人面接は、発達障がい児童生徒の模擬授業を含めて実施します。 ※5　中学校音楽、中学校保健体育、中学校英語は実技があります。

（２）高等学校教員選考(障がいのある人を対象とした教員選考を含む)

選考区分				一次選考			適性検査	二次選考
				筆記試験	小論文	書類審査		個人面接※2
				教職教養・専門教科				
（１）一般選考				〇	〇	〇	〇	〇
（２）社会人を対象とした選考				〇		〇	〇	〇
（３）信州３Ｓ（スリーエス）選考	スキルアップ選考（特別選考）	ＳＫ①Ａ：補欠合格者等を対象とした選考	一般				〇	〇
			社会人				〇	〇
		ＳＫ③Ａ：正規教員経験者を対象とした選考		〇※1		〇	〇	〇
		ＳＫ③Ｂ：信州カムバック選考				〇	〇	〇
	スペシャリスト選考（専門選考）	ＳＰ②：英語資格所有者選考	一般			〇	〇	〇
			社会人			〇	〇	〇
		ＳＰ④：博士号取得者選考	一般			〇	〇	〇
			社会人			〇	〇	〇
		ＳＰ⑥：ネイティブ英語教員選考				〇	〇	〇

※1　二次選考の際に参考とします。 ※2　個人面接を２回実施します。ただし、ＳＰ④博士号取得者を対象とした選考、ＳＰ⑥ネイティブ英語教員選考においては３回(うち２回は模擬授業を主とした面接)実施します。

（３）スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考（小学校･中学校教員選考、特別支援学校教員選考）

選考区分				一次選考				適オ性ン検ラ査イン	二次選考	
				筆記試験		個人面接	書類審査		個人面接※3	実技
				教職教養	専門教科					
（１）一般選考				○	○※2	○	○	○	○	※5
（２）社会人を対象とした選考					○※2	○	○	○	○	※5
（３）信州３Ｓ（スリーエス）選考	スキルアップ選考（特別選考）	ＳＫ③Ａ：正規教員経験者を対象とした選考			○※1※2		○	○	○	※5
		ＳＫ③Ｂ：信州カムバック選考					○	○	○	※5
	スペシャリスト選考（専門選考）	ＳＰ①：日本語指導資格所有者選考	一般				○	○	○	※5
			社会人				○	○	○	※5
		ＳＰ②：英語資格所有者選考	一般				○	○	○	※5
			社会人				○	○	○	※5
		ＳＰ③：発達障がい児童生徒特別支援のための選考			○※1※2		○	○	○※4	※5
		ＳＰ④：博士号取得者選考	一般				○	○	○	
			社会人				○	○	○	
		ＳＰ⑤：学芸員資格所有者選考	一般				○	○	○	※5
			社会人				○	○	○	※5

※1　二次選考の際に参考とします。 ※2　中学校美術には実技があります。 ※3　二次選考の個人面接は、２回実施します。うち１回はスポーツ関連事項に係る面接を実施します。 ※4　二次選考の個人面接は、発達障がい児童生徒の模擬授業を含めて実施します。 ※5　中学校音楽、中学校保健体育、中学校英語は実技があります。

（４）スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考（高等学校教員選考）

選考区分				一次選考			適オ性ン検ラ査イン	二次選考
				筆記試験	小論文	書類審査		個人面接※2
				教職教養・専門教科				
（１）一般選考				○※1		○	○	○
（２）社会人を対象とした選考				○※1		○	○	○
（３）信州３Ｓ（スリーエス）選考	スキルアップ選考（特別選考）	ＳＫ③Ａ：正規教員経験者を対象とした選考		○※1		○	○	○
		ＳＫ③Ｂ：信州カムバック選考				○	○	○
	スペシャリスト選考（専門選考）	ＳＰ②：英語資格所有者選考	一般			○	○	○
			社会人			○	○	○
		ＳＰ④：博士号取得者選考	一般			○	○	○
			社会人			○	○	○
		ＳＰ⑥：ネイティブ英語教員選考				○	○	○

※1　二次選考の際に参考とします。保健体育は実技を免除します。

※2　個人面接を３回実施します。うち１回はスポーツ関連事項に係る面接を実施します。ただし、ＳＰ④博士号取得者を対象とした選考、ＳＰ⑥ネイティブ英語教員選考においては個人面接を４回（うち２回は模擬授業を主とした面接、１回はスポーツ関連事項に係る面接）実施します。

８　小学校･中学校教員選考における併願制度

小学校教員選考において、第二希望として中学校教員選考（一教科）を併願することができます。また、中学校教員選考においては、第二希望として小学校教員選考を併願することができます。

（１）併願制度を利用できる受験者

・小学校・中学校教員選考において、希望する学校種及び教科の普通免許状を有する者又は令和９年３月31日までに取得見込の者（授与申請をし、免許状が発行される見込みの者）

（２）申込方法及び選考

・小学校・中学校教員選考で併願を希望する受験者は、出願時に「ながの電子申請サービス」の該当部分に入力してください。

・試験は、第一希望の学校種で行います。第二希望の学校種を受験する必要はありません。

・小学校教員選考において、第二希望として中学校教員選考（一教科）を併願する場合に、第二希望の中学校教員選考で合格となる場合があります。また、中学校教員選考においては、第二希望として小学校教員選考を併願する場合に、第二希望の小学校教員選考で合格となる場合があります。

（３）「第一希望のブロックを優先」と「学校種を優先」の選択について

・小学校・中学校教員選考で併願を希望する受験者は、下の表にある「Ａ：第一希望のブロックを学学校種よりも優先する」と「Ｂ：第一希望のブロックよりも学校種を優先する」のどちらかを選択します。

・例えば、下の表は、小学校・中学校教員選考で併願を希望した受験者が「受験校種が小学校、併願先が中学校国語、ブロックの第一希望が北信、第二希望が東信」を希望した場合の例です。この受験者がＡを選択した場合は、第一希望の北信ブロックでの合格が学校種よりも優先されます。Ｂを選択した場合は、受験校種の小学校での合格が第一希望のブロックよりも優先されます。

（例）「受験校種が小学校、併願先が中学校国語。ブロックの第一希望が北信、第二希望が東信」の場合

選択	希望順位
Ａ：第一希望のブロックを学校種よりも優先する	①小学校　北信 ②中学校国語　北信 ③小学校　東信 ④中学校国語　東信
Ｂ：第一希望のブロックよりも学校種を優先する	①小学校　北信 ②小学校　東信 ③中学校国語　北信 ④中学校国語　東信

９　選考基準

（１）小学校･中学校教員選考、特別支援学校教員選考、障がいのある人を対象とした教員選考、スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考

①　一次選考

選考内容			評価の観点、配点・段階等		総合判定
筆記試験	教職教養　（教育原理、教育法規、教育時事、教育心理、教育史等）		―	60 点	筆記試験の結果を基に、個人面接及び書類審査の結果を加味して、総合的に判定する。 ５段階 (G, F1, F2, F3, F4) G　：合　格 F　：不合格
	専門教科　（教科等の指導に関する内容を含む。小学校は外国語（英語）に関する内容も含む。）		―	100 点	
	実技	中学校美術（鉛筆によるデッサン）	発想・構想力、技能 等 (25 点。100 点に含む。)	(25 点)	
個人面接（与えられた課題について、意見や感想の発表、討論）			意欲、協調性、創造性、積極性、コミュニケーション力	５段階 50 点	
書類審査（履修内容及び成績、免許、特技等）			選考の参考にする。		

②　二次選考

選考内容		評価の観点、配点・段階等		総合判定
個人面接 （教員採用選考申込に記入した内容についての質問を含む。）		・意欲（教育への情熱、使命感） ・人間性（広い視野、確かな人権意識） ・協調性・創造性（コミュニケーション力、協働して行動する力、柔軟な思考力、向上心） ・社会性（真摯な対応、幅広い教養）	５段階 90 点	個人面接及び実技の結果を基に、一次選考資料等を参考にしながら、総合的に判定する。 ５段階 (G, H, F1, F2, F3) G　：合　格 H　：補欠合格 F　：不合格
	模擬授業等 〇与えられた課題について、目の前に児童生徒がいることを想定した模擬指導	・専門性 （探究的な学びに向けた授業の構想・展開） （児童・生徒、保護者等への適切な対応）		
実技	中学校保健体育 ・陸上競技、器械運動、ダンス、武道、球技	運動種目の理解、技能、指導力	５段階 30 点	
	中学校音楽 ・指揮（課題曲）、ピアノ伴奏しながら独唱（課題曲）	技能、表現力		

	・独唱又は独奏(任意の曲、任意の楽器)		
	中学校英語 ・模擬授業、モデルスピーチと英問英答	技能、指導力	
適性検査・書類審査		選考の参考にする。	

（2）高等学校教員選考、障がいのある人を対象とした教員選考、スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考

① 一次選考

選考内容			評価の観点、配点・段階等		総合判定
筆記試験	教職教養（教職及び時事教養）		―	20点	筆記試験及び実技試験の結果を基に、小論文及び書類審査の結果を加味して、総合的に判定する。 ５段階 (G, F1, F2, F3, F4) G　：合　格 F　：不合格
	専門教科(大学卒業程度の各教科における専門的知識・知能)		―	120点	
	実技	保健体育(陸上競技・球技・器械運動)	実技指導に必要十分な技能の理解・修得状況	(60点)	
		音楽(弾き歌い・即興伴奏・新曲視唱)	音楽性、構成力、表現力	(60点)	
		美術(鉛筆によるデッサン)	構図、描写力、表現力	(60点)	
		書道(漢字仮名交じり・漢字・仮名の書の表現)	表現の技能、表現の工夫	(60点)	
小論文（与えられた課題について、600字以内で論述）			題意把握の的確さ（テーマ設定、根拠の妥当性等）、文章構成の工夫（テーマに沿った適切な構成等）、論理的思考力（論旨の展開等）、表記(誤字・脱字、字数制限等)	５段階 20点	
書類審査(履修内容及び成績、免許、特技等)			選考の参考にする。		

② 二次選考

選考内容	評価の観点、段階等		総合判定
個人面接 〇高校生活の印象・大学卒業論文の概要など、事前に提出する「個人面接カード」の内容に関する質問	・意欲（教育への情熱・使命感・目的意識） ・人間性（広い視野、確かな人権意識） ・協調性・創造性（コミュニケーション力、協働して行動する力、柔軟な思考力、向上心） ・社会性（真摯な対応、幅広い教養） ・専門性（広い教養、教科の専門的知識・技術、ファシリテーターとしての能力）	５段階 300点	個人面接の結果を基に、一次選考資料等を参考にしながら、総合的に判定する。 ５段階 （G, H, F1, F2, F3） G　：合　格 H　：補欠合格 F　：不合格
模擬授業等 〇与えられた課題について、目の前に生徒がいることを想定した模擬指導（英語の志願者は英語で行う。）	・わかりやすさ、的確さ、教師としての姿勢 ・生徒の探究的な学びを支援する力		
適性検査・書類審査	選考の参考にする。		

10　大学院修士課程等在学者・進学者に対する採用猶予

（1）本年度の採用選考の合格者（特別選考「大学推薦選考」、障がいのある人を対象とした教員選考「大学推薦選考」での合格者、信州UIJターン秋選考での合格者を除く）で、大学院修士課程（博士前期課程及び教職大学院を含む）に在学している者は１年間、来年度進学することが決定している者については２年間、採用を猶予します。

（2）小学校・中学校教員選考、特別支援学校教員選考の採用猶予者は、大学院在学中に受験校種（教科）の専修免許状を取得すること、もしくは受験校種（教科）以外の専修免許状を取得すること、又は、「学校心理士」「公認心理師」「臨床心理士」資格を取得見込であることを条件とします。

（3）猶予期間のうちに大学院修士課程（博士前期課程及び教職大学院を含む）を修了することとします。

（4）別途定める方法により、令和８年11月９日までに採用猶予願の提出が必要です。

※　大学院の合格発表が11月９日より遅い場合は御相談ください。

11　妊娠者等に対する採用猶予

（1）本年度の採用選考の合格者で、令和８年度に妊娠されている者及び令和８年度末時点で０歳、１歳の子の養育をしている者は、男女を問わず希望により、採用年度と採用次年度の最大２年間は採用を猶予することができます。

（2）猶予期間終了後の４月１日から勤務することを条件とします。

（3）別途定める方法により、令和８年 11 月９日までに採用猶予願の提出が必要です。

※　採用選考申込み時に、妊娠中の方及び０歳、１歳になる子の養育をしている方、又は申込以降に妊娠が判明した方は御相談ください。

12　免許状を所有しない社会人受験者を対象とした免許取得期間の猶予

（1）免許状を所有しない者も、採用選考を受験することができます。

（2）免許状を所有しない受験者が合格点に達し、臨時免許状の取得が可能となった場合は、臨時的任用教員として任用し、免許状取得まで最大３年間の採用を猶予します。

選考区分	「免許状を所有しない者」を選択
教員の種別	小・中学校教諭
受験者の条件	次のいずれにも該当する者 ・民間企業、教職以外の公務員、ＮＰＯ等の経験が令和９年３月 31 日現在で通算３年以上ある者又は青年海外協力隊等の国際貢献活動の経験が令和９年３月 31 日現在で通算２年以上ある者。 ・令和９年４月１日から臨時的任用教員として勤務できる者。 ・事前に関係機関に確認の上、免許状取得の見通し（最大３年間）をもち、９月 30 日（水）までに免許状取得計画書（長野県教育委員会ホームページからダウンロード）を提出できる者。
出願方法	「ながの電子申請サービス」を用いた電子申請。
申込書類 （提出書類）	次の提出書類を５月７日（木）（消印有効）までに郵送してください。 ①学業成績証明書原本（高等学校以降のものすべて。ただし高等学校のものが発行できない場合は、出身高等学校から発行できない旨を証明する書類を発行してもらい、提出すること） その他の提出書類については、受付終了後に別途通知します。
採用猶予になるまでの過程	一次選考で合格点に達した受験者は、二次選考を受験することができます。 二次選考で合格点に達した受験者に対して、臨時免許状を発行して臨時的任用教員として任用し、免許状取得まで最大３年間の採用を猶予します。
結果の通知	①　一次選考結果 ア　合格点到達に係わる総合評価、個人面接の段階別評価並びに教職教養、専門教科及び実技の得点及び平均点を７月中旬に、出願時に使用したメールアドレス宛に通知します。 イ　通知配信日と同日に、合格点に達した者の受験番号を本県教育委員会ホームページに掲載します。 ウ　一次選考合格点到達者に係わる総合評価等については、二次選考結果通知にあわせて通知します。 エ　一次選考合格点到達者には、別途メール（出願時に使用したメールアドレス宛）で「オンライン適性検査」の連絡をします。指定する期間内に「オンライン適性検査」を行ってください。
結果の通知	②　二次選考結果 ア　合格点到達に係わる総合評価、個人面接及び実技の段階別評価を８月下旬に出願時に使用したメールアドレス宛に通知します。 イ　通知配信日と同日に、合格点到達者の受験番号を長野県教育委員会ホームページに掲載します。 ③　合格点到達者は、臨時免許状の申請を行ってください。申請手続きの詳細については、義務教育課（026-235-7426）へお問い合わせください。

試験項目	一次選考				適オ性ン検ラ査イン	二次選考	
	筆記試験		個人面接	書類審査		個人面接※1	実技
	教職教養	専門教科					
○印の項目について、試験を課す。	○	○	○	○	○	○	※2

※1　二次選考は、個人面接を１回実施します。※2　中学校音楽、中学校保健体育、中学校英語は実技があります。

13　特定免許取得予定講師の優先的採用

（１）小学校・中学校・特別支援学校教員選考の二次不合格者の上位者（長野県教育委員会が指定）のうち、【美術】【技術】【家庭】いずれかの免許状取得予定者を任期付き採用教員等として任用します。

（２）任用期間中（最大３年間）に【美術】【技術】【家庭】いずれかの免許状を取得した場合に、免許状を取得した翌年度の採用予定者とします。

（３）特定免許取得予定講師の優先的採用該当者には、長野県教育委員会から意思確認の連絡があります。希望する者は、９月 30 日（水）までに免許状取得計画書（長野県教育委員会ホームページからダウンロード）を提出してください。

14　信州 UIJ ターン秋選考Ａ（小学校･中学校教員選考、特別支援学校教員選考）

募集する学校種・教員の種別等	学校種：小学校、中学校、特別支援学校 教員の種別：小・中学校教諭、特別支援学校教諭 ※ただし、令和９年度長野県公立学校教員採用選考の結果により、実施しない学校種・教科、採用のない「採用地ブロック」があります。
募集人数	実施する各選考若干名
受験者の条件 ２年連続補欠合格者等秋チャンス選考(SKⅠB)	・令和９年度長野県公立学校教員採用選考資格者であり、令和９年度長野県公立学校教員採用選考未受験者に限る。 次の①②のいずれかに該当する者 ①過去に長野県以外の国公立学校の正規教員の経験が１年以上ある者。 ②令和８年度及び令和９年度長野県公立学校教員採用選考（小学校、中学校）をともに受験し、２年連続補欠合格者等となった者（令和８年度の信州 UIJ ターン秋選考の補欠合格者等を除く）（５ページ参照）。ただし、令和８年度及び令和９年度長野県公立学校教員採用選考（小学校、中学校）と同一の学校種・教科を志願すること。
募集案内発表	９月 15 日(火)長野県教育委員会ホームページ
募集期間	９月 15 日(火)から 9 月 30 日(水)まで
出願方法	「ながの電子申請サービス」を用いた電子申請。出願方法等の詳細は、長野県教育委員会ホームページをご覧ください。 出願受理後に「オンライン適性検査」の案内をメールで送付します。
選考日・会場	10 月 24 日(土)・時間、会場については受付後受験者に通知。
選考会場での提出書類	学業成績証明書、所有教員免許状の写し、正規教員経験者を対象とした選考用履歴書（長野県教育委員会ホームページより入手してください。）
結果の通知	ア　合否結果並びに総合評価、個人面接の段階別評価を11月上旬に通知します。 イ　通知配信日と同日に、合格者の受験番号を長野県教育委員会ホームページに掲載します。
猶予制度	大学院修士課程等在学者・進学者に対する採用猶予はありません。 妊娠者等に対する採用猶予を希望する場合は 11 月 27 日（金）までに採用猶予願の提出が必要です。

15　信州 UIJ ターン秋選考Ｂ　【特定の山間地校勤務を条件とした採用】
（小学校･中学校教員選考）

募集する学校種・教員の種別等	学校種：小学校、中学校 教員の種別：小・中学校教諭 ※ただし、令和９年度長野県公立学校教員採用選考の結果により、実施しない学校種・教科、採用のない「採用地ブロック」があります。
募集人数	実施する各選考若干名
受験者の条件	・令和９年度長野県公立学校教員採用選考資格者であり、令和９年度長野県公立学校教員採用選考未受験者に限る（「２年連続補欠合格者等 秋チャンス選考」（５ページ参照）の該当者は、信州 UIJ ターン秋選考Ｂでは受験できません）。 次の①～③のいずれかに該当する者 ①過去に長野県以外の国公立学校の正規教員の経験が１年以上ある者。 ②学校、幼稚園で常勤・非常勤講師の経験が令和９年３月 31 日現在で通算３年以上ある者。 ③民間企業、教職以外の公務員、ＮＰＯ等の経験が令和９年３月31日現在で通算３年以上ある者又は青年海外協力隊等の国際貢献活動の経験が令和９年３月31日現在で通算２年以上ある者。
採用後の勤務	・原則、長野県教育委員会が指定する山間地校に配置します。
募集案内発表	９月 15 日(火)長野県教育委員会ホームページ
募集期間	９月 15 日(火)から 9 月 30 日(水)まで
出願方法	「ながの電子申請サービス」を用いた電子申請。出願方法等の詳細は、長野県教育委員会ホームページをご覧ください。

	出願受理後に「オンライン適性検査」の案内をメールで送付します。
選考日・会場	10 月 24 日(土)・時間、会場については受付後受験者に通知。
選考会場での提出書類	学業成績証明書、所有教員免許状の写し 受験者の条件①の者：正規教員経験者を対象とした選考用履歴書（長野県教育委員会ホームページより入手してください。）
結果の通知	ア　合否結果並びに総合評価、個人面接の段階別評価を11月上旬に通知します。 イ　通知配信日と同日に、合格者の受験番号を長野県教育委員会ホームページに掲載します。
猶予制度	大学院修士課程等在学者・進学者に対する採用猶予はありません。 妊娠者等に対する採用猶予を希望する場合は 11 月 27 日（金）までに採用猶予願の提出が必要です。

16　信州 UIJ ターン秋選考（高等学校教員採用選考）

募集する学校種・教員の種別等	学校種：高等学校 教員の種別：高等学校教諭、養護教諭 ※ただし、令和９年度長野県公立学校教員採用選考の結果により、実施しない種別・教科があります。
募集人数	実施する各選考若干名
受験者の条件	次のいずれにも該当する者 ・令和９年度長野県公立学校教員採用選考資格者であり、令和９年度長野県公立学校教員採用選考未受験者。 ・過去に長野県以外の国公立学校の正規教員の経験が１年以上ある者。
募集案内発表	９月 15 日(火)長野県教育委員会ホームページ
募集期間	９月 15 日(火)から 9 月 30 日(水)まで
出願方法	「ながの電子申請サービス」を用いた電子申請。出願方法等の詳細は、長野県教育委員会ホームページをご覧ください。 出願受理後に「オンライン適性検査」の案内をメールで送付します。
選考日・会場	10 月 24 日(土)・時間、会場については受付後受験者に通知。
選考会場での提出書類	受験票、学業成績証明書、正規教員経験者を対象とした選考用履歴書（長野県教育委員会ホームページより入手してください。）
結果の通知	ア　合否結果並びに総合評価、個人面接の段階別評価を11月上旬に通知します。 イ　通知配信日と同日に、合格者の受験番号を長野県教育委員会ホームページに掲載します。
猶予制度	大学院修士課程等在学者・進学者に対する採用猶予はありません。 妊娠者等に対する採用猶予を希望する場合は 11 月 27 日（金）までに採用猶予願の提出が必要です。

選考内容（信州ＵＩＪターン秋選考共通）	評価の観点、段階等		総合判定
個人面接 （信州 UIJ ターン秋選考申込に際し、事前に記入した内容についての質問を含む。）	・意欲（教育への情熱、使命感） ・人間性（広い視野、確かな人権意識） ・協調性・創造性（コミュニケーション力、協働して行動する力、柔軟な思考力、向上心） ・社会性（真摯な対応、幅広い教養）	３段階	個人面接の結果、書類審査を基に、総合的に判定する ３段階 (G,H,F) G：合　格 H：補欠合格 F：不合格
模擬授業等 ○与えられた課題について、目の前に児童・生徒がいることを想定した模擬指導	・専門性 （探究的な学びに向けた授業の構想・展開） （児童・生徒、保護者等への適切な対応）		
書類審査・適性検査(事前にオンラインで実施)	選考の参考にする。		

17　選考の結果

（１）小学校・中学校教員選考、特別支援学校教員選考における結果の通知

①　一次選考結果

ア　合否結果並びに不合格者に係わる総合評価、個人面接の段階別評価並びに教職教養、専門教科及び実技の得点及び平均点を７月中旬に、出願時に使用したメールアドレス宛に通知します。

イ　通知配信日と同日に、合格者の受験番号を長野県教育委員会ホームページに掲載します。

ウ　一次選考合格者に係わる総合評価等については、二次選考結果通知にあわせて通知します。

エ　一次選考合格者には、別途メール(出願時に使用したメールアドレス宛)で「オンライン適性検査」の連絡をします。指定する期間内に「オンライン適性検査」を行ってください。

② 二次選考結果

ア 合否結果並びに総合評価、個人面接及び実技の段階別評価を８月下旬に出願時に使用したメールアドレス宛に通知します。

イ 通知配信日と同日に、合格者の受験番号を長野県教育委員会ホームページに掲載します。

（２）高等学校教員選考における結果の通知

① 一次選考結果

ア 合否結果並びに不合格者に係わる総合評価、小論文の段階別評価並びに教職教養、専門教科及び実技の得点及び平均点（以下総合評価等）はながの電子申請サービスを用いて通知します。７月中旬に申込時に登録したメールアドレス宛に確認が可能になった旨お知らせしますので、各自でアクセスしてください。

イ ながの電子申請サービスでの確認可能通知と同日に、合格者の受験番号を長野県教育委員会ホームページに掲載します。

ウ 一次選考合格者に係わる総合評価等については、二次選考結果通知にあわせて確認できます。

エ 一次選考合格者には、別途メールで「オンライン適性検査」の連絡をします。指定する期間内に「オンライン適性検査」を行ってください。

② 二次選考結果

ア 合否結果、二次選考の総合評価、及び一次選考の総合評価等はながの電子申請サービスを用いて通知します。８月下旬に申込時に登録したメールアドレス宛に確認が可能になった旨お知らせしますので、各自でアクセスしてください。

イ ながの電子申請サービスでの確認可能通知と同日に、合格者の受験番号を長野県教育委員会ホームページに掲載します。

（１）、（２）の選考結果については、口頭で開示を請求することもできます。ただし、一次選考合格者は、選考試験が継続して行われるため、二次選考結果通知後に開示請求ができるものとします。

・開示する期間は、選考結果の通知日から１年間です。

・開示する場所は、長野県教育委員会事務局義務教育課又は高校教育課（長野県庁８階）です。

・必要書類は、マイナンバーカード、運転免許証、学生証等本人であることを証明できるものです。

18 その他

（１）採用選考の実施に際して収集する個人情報は、この採用選考及び臨時的任用のために必要な範囲でのみ利用します。

（２）提出された書類等は、一切返却しません。

（３）一次選考の教職教養・専門教科の問題用紙は持ち帰りができます。

（４）令和８年 12 月 25 日に施行される学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律（令和６年法律第 69 号。以下「こども性暴力防止法」という。）第２条第８項に規定する、特定性犯罪事実該当者ではない者を採用条件の１つとします。

・ 採用過程で性犯罪歴が無いことを書面等で確認します。

・ 採用予定者を対象に、こども性暴力防止法施行後に、こども性暴力防止法第４条第１項に基づき犯罪事実確認を実施します。

（５） 採用候補者名簿登載及び採用内定の取消しについて

・ 採用候補者名簿への登載後、重要な経歴の詐称や信用失墜行為等教員としてふさわしくない行為が判明した場合は、採用候補者名簿への登載及び採用内定を取り消すことがあります。